

文化財こぼれ話

本号から、『文化財通信』のデザインを大幅にリニューアルしました。装いは新たになりましたが、「文化財を守り伝える京都府基金」の精神は今後も大切に継承して参りますので、よろしくお願いいたします。

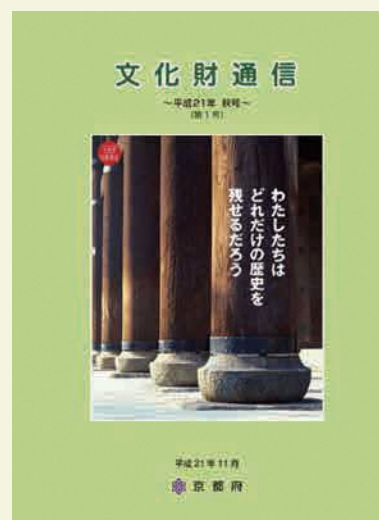
さて、誌面に掲載されているとおり、寄附者の皆様からの御厚志は、京都府内の各地に点在する文化財の修理などに活用されています。対象の多くは、地元で大切に守られてきた神社やお寺の建物。

現地を訪れると、「受け継がれてきたものを守りたい」、「寄附金からの支援はありがたい」、「どんな修理が良いだろう」という、使命感、期待、そして不安といった、様々な感情がないまぜになった表情を浮かべた地元の方々と最初にお目にかかります。

わたしたち府庁の文化財専門職員が現地を視察しているあいだは、みなさん興味津々。そして、どんな修理がよいかの説明を真剣に聞いてくださいます。いつの間にか、気のおけない和やかな意見交換になるのもよくある展開です。

その後、修理が進み、工事が完成したときに現地を再度訪れます。再会したみなさんは、修理が終わった達成感と安堵感で目を輝かせておられます。

誌面の「所有者の思い」には、そんな地元の方々からの感謝の気持ちが込められているのです。



第1号 平成21年

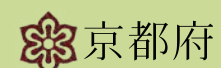


第17号 令和8年

【発行】

令和8年3月

京都府文化生活部文化政策室



京都府

京都府
ふるさと納税
実績報告

あなたの思いが、
京都の文化財を守る

文化財通信

第

17号

目次

文化財を守り伝える京都府基金

P 02 概要

P 03 補助事業の紹介

P 07 寄附の受入実績・ご寄附いただいた企業様

P 09 返礼品（京都文化体験）の紹介

文化レジリエンス事業（企業版ふるさと納税）

P 11 概要・補助事業の紹介

P 12 ご寄附いただいた企業様

ご寄附の方法・京都府HP

『文化財通信』には「常磐色（濃い緑）」と「若菜色（淡いうぐいす色）」を用いています。

『源氏物語』で、光源氏は、六条御息所を野宮に訪ね、彼女に対する変わらぬ恋心を、永久不変の樹木の緑に例えて、「常磐色」と言っています（賢木巻）。また、光源氏の40歳の祝いの席で、養女の玉鬘が若菜を差し出した（若菜巻）ことにちなんで、このよう

なうぐいす色を用いました。
永遠の「常磐」と寿ぐ「若菜」に文化財の保護と継承の願いを託したものです。

ごあいさつ

京都府では、平成20年7月から、ふるさと納税制度を活用した「文化財を守り伝える京都府基金」を設置しています。この基金は、寄附金の全額を京都府内の歴史的建造物の保存・修理や防災対策などの「文化財保護」に限定し活用するという、全国唯一の特色あるものであり、令和8年3月までに全国から寄せられた御寄附は、3,805件、2億7,061万円余りに上っています。改めまして皆様方からの御厚志に心より感謝申し上げます。

また、平成21年度から令和6年度までの16年間に於いて、本基金から文化財保護のために、289件、総額2億4,354万円余りを支出しており、文化財を所有する方々から感謝のお言葉を頂戴しているところです。

京都府の文化財の多くは、地域に暮らす人々の信仰や営みとともに、時代を越え、連綿と受け継がれてきたかけがえのない財産であります。

一方で、社会の変化により、文化財の継承や管理に課題が生じる中、京都府では、文化財を適切に守りながら、その魅力を未来に向けて次世代へと繋ぐ取組を進めています。

さて、今年は、「日本文化の故郷」とも言われる寛永文化の隆盛につながった寛永行幸から400年を迎え、「寛永行幸四百年祭」において行幸を復元させる取組を行います。これらが実現できるのも、先人たちの御努力により現代まで受け継がれた多くの文化財があったからです。

今後とも、貴重な文化財を守り、次世代に引き継いでいくために、多くの皆様に本基金に御協力いただけるよう、努力してまいりたいと考えております。今後とも京都を愛する皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



京都府知事 西脇 隆俊

「文化財を守り伝える京都府基金」の概要

京都府内には、歴史的建造物など数多くの貴重な文化財があり、これらを地震・火災等から守り、保存・修理することで、未来に良好な状態で伝えていく必要があります。

このため、京都府では、ふるさと納税制度を活用して、文化財保護に用途を限定した「文化財を守り伝える京都府基金」を設置し、全国の方々に寄附をお願いしています。

ふるさと納税とは

自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から控除される制度です。

※ 収入や家族構成などにより一定の上限があります。詳細は総務省HPをご覧ください。



寄附の使い道

いただいた寄附金は、文化財の保護を目的に下記の事業への助成に使われます。

- 歴史的建造物など有形文化財の保存、修理のための事業
- 地震、火災等から有形文化財を守るための事業
- 文化財保護のこころを育む事業

補助事業対象となる文化財の選定

「文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金事業の実施に係る専門家会議」を開催し、補助事業対象となる文化財の選定及び事業の実施に係るご意見をいただいています。

- 委員長 平井 俊行（八幡市立松花堂庭園・美術館館長）
 委員 朧谷 寿（同志社女子大学名誉教授）
 委員 高橋 良和（京都大学大学院工学研究科教授）
 委員 京都府文化生活部副部長兼文化政策室長



令和6年度に実施した補助事業

歴史的建造物など有形文化財の保存、修理のための事業 5件

事業者名	所在地	対象事業の概要
(宗) 伊吹神社	京丹後市	八幡神社本殿解体修理
(宗) 寶住寺	綾部市	観音堂木部修理及び傾き修正
(宗) 八幡宮	宇治市	本殿屋根修理
(宗) 知恩院	京都市東山区	国宝三門天井修理 (→ P 4)
(宗) 間主神社	京丹後市	境内社屋根及び外壁修理 (→ P 4)

地震・火災から有形文化財を守る事業 3件

事業者名	所在地	対象事業の概要
(宗) 走田神社	亀岡市	本殿及び稲荷社の危険木伐採
(公財) 冷泉家時雨亭文庫	京都市上京区	冷泉家住宅東門 更新工事
(宗) 浄土院	京都市上京区	本堂屋根 修理 (→ P 5)

※火災報知器や防犯機器等の設置のほか、文化財を守るための防災事業も対象としています。

文化財保護のこころを育む事業 2件

事業者名	所在地	対象事業の概要
源氏藤袴会	京都市上京区	文化財の普及啓発
明日の京都 文化遺産プラットフォーム	京都市中京区	文化財の普及啓発 (→ P 6)

歴史的建造物など有形文化財の保存、修理のための事業

● 宗教法人知恩院 三門天井修理

京都市東山区



浄土宗総本山である知恩院の三門（国宝）は、徳川二代将軍秀忠の発意によって元和七年（1621）に建立された、京都を代表する大型木造建造物の一つです。門の二階は仏堂となっており、天井には狩野派による彩色画が描かれています。このたび、天井に描かれた龍図の彩色が剥落及び剥離したことから、剥離をくい止め、彩色が欠失した箇所にも元の色味の絵具を塗り補填する修理を行いました。



所有者の思い

三門の特別公開をする直前に、天井画の破損に気づきました。京都府に相談したところ「文化財を守り伝える京都府基金」ですぐに対応していただいたので、たいへん助かりました。

● 宗教法人間主神社 境内社屋根及び外壁修理

京丹後市

京丹後市丹後町の海沿いの高台に鎮座する間主神社は、毎年子ども祭りが境内で開催されるなど、地域住民の心のよりどころとなっています。このたび、境内社の屋根木部が経年のため老朽化し、さらに令和6年8月末の台風10号による大雨で正面軒先が破損したため、屋根と外壁の修理を行いました。



所有者の思い

地域で大切にしている神社が台風のために破損し、心を痛めていましたが、「文化財を守り伝える京都府基金」のおかげで修理ができました。おかげさまで、安心して地域の行事を行えます。



地震・火災から有形文化財を守る事業

● 宗教法人浄土院 本堂修理

📍 京都市上京区



京都市上京区に所在する浄土院の本堂に安置される御本尊の木造阿弥陀如来坐像（重要文化財）は、内部に永長元年（1096）12月26日の銘がある平安時代の仏像です。令和6年夏の豪雨による雨漏りで天井裏に水が溜まり、御本尊の隣室で天井が抜ける被害が発生しました。

阿弥陀如来坐像への影響が懸念されたため、漏水の原因をつきとめ、屋根を修理する工事を実施しました。



阿弥陀如来坐像

所有者の思い

大雨で天井が抜けたときはとても驚き、御本尊のことを心配しましたが、「文化財を守り伝える京都府基金」補助金を活用して、しっかりとした修理ができました。幸い、その後、雨漏りは全く発生しておりません。おかげさまで、これからは安心して御本尊を守っていけそうです。



文化財保護のこころを育む事業

● 明日の京都 文化遺産プラットフォーム

📍 京都市中京区

千年前に想いを馳せ、百年後に思いを巡らせることにより、全ての人々が日々の暮らしの中で京都の歴史の重さを感じ、それをかけがえの無いものとして捉えるようになることを目指し、様々な事業に取り組んでいます。

今回は、世界遺産「古都京都の文化財」の登録（1994年）から30年目を迎えることを記念し、京都の文化財を未来に受け継いでいくという思いを次世代に伝えることを目的に事業を実施しました。

第14回フォーラム「教えて！磯田先生 未来のための災害の歴史」では、歴史学者・磯田道史氏をお招きし、「京都の災害史」をテーマに講演していただきました。

また、「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクールを実施し、応募作品の展示会と受賞作品の表彰式を磯田氏の講演会と同時開催で行いました。



磯田道史氏の講演風景



子ども絵画コンクール受賞者のみなさん



子ども絵画コンクール京都府知事賞受賞作品

主催者から一言

フォーラムやシンポジウムを通じて、文化に想いを寄せ、文化財保護のこころを育む機会の創出に努めています。老若男女問わず、幅広い方々の参加参画をお待ちしています。

令和 6 年度の寄附の受入実績

令和 6 年度の受入実績

事業者名	件数	金額
個人	8 2 件	4, 3 9 9, 3 5 4 円
法人	8 件	2, 9 1 9, 5 8 3 円
合計	9 0 件	7, 3 1 8, 9 3 7 円

募金によるご寄附

● 募金箱の設置

京都府内の寺院・神社に募金箱を設置しています。



【募金箱を設置している寺院】
清水寺様、相国寺様、鹿苑寺様、慈照寺様、教王護国寺様、大覚寺様、泉涌寺様、仁和寺様、禅林寺様、平等院様、圓通寺様、浄瑠璃寺様

【募金箱を設置している神社】
北野天満宮様、八坂神社様、賀茂別雷神社様、賀茂御祖神社様、今宮神社様、石清水八幡宮様、伏見稲荷大社様

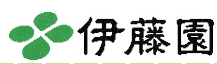
● 寄附機能付き自動販売機の設置



株式会社ハートフレンド様のご協力により、フレスコ五条西洞院店に設置された自動販売機の収益の一部が基金へ寄附されています。

企業キャンペーン

● 株式会社 伊藤園



株式会社伊藤園では、日本各地の環境保全・整備活動を支援し、地域と一緒に実施される保全活動を平成22年度から実施しておられます。
平成24年度から「お茶で京都を美しく。」という活動に取り組まれ「お〜いお茶」全飲料製品の売り上げの一部を毎年御寄附いただいています。

西脇知事から感謝状を贈呈しました

● 公益財団法人 日新電機グループ社会貢献基金

令和 6 年度におきましても、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金様から「文化財を守り伝える京都府基金」へ100万円及び重要文化財「京都府庁旧本館」修理・整備に200万円のご寄附をいただき、知事から感謝状を贈呈させていただきました。
「京都府庁旧本館」修理・整備につきましては、平成30年度より7年継続しての支援です。ご理解とご協力をいただきありがとうございます。



公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金
松下理事長(左)と西脇知事(右)

京都文化体験（返礼品）

○文化財を守り伝える京都府基金では、府内の寺社、観光、文化関係の諸団体やNPO等が参加する、「基金ネットワーク」を立ち上げ、基金の広報や京都文化体験（返礼品）の提供にご協力いただいています。
○京都府内に住民票を有する方には、法律上、返礼品の提供ができません。ご注意ください。

1



京都文化博物館 特別展

京都文化博物館で開催される特別展の招待券を贈呈いたします。
博物館のシンボルとして公開・活用されている明治の名建築・旧日本銀行京都支店は重要文化財に指定されています。

寄附額：1万円
内容量：ペア招待券
場 所：烏丸御池エリア

2



杉本家住宅 特別観覧

重要文化財に指定されている杉本家住宅で開催される解説付きの特別観覧です。
昔ながらの京町家で季節のしつらえをゆったりお楽しみください。

寄附額：1万円
内容量：1名様のご招待
場 所：四条烏丸エリア

3



知恩院ライトアップ 招待券

春と秋に開催される知恩院ライトアップでは、日本最大級の本造二重門である、国宝三門の回廊が公開され、京都市内の夜景を一望できます。御影堂の中では法話を聞くことができ、また、名庭友禅苑も拝観いただけます。

寄附額：1万円
内容量：ペア招待券
※春か秋のいずれか

4



北野天満宮特別拝観

北野天満宮の境内の文化財を神職様にご案内いただくツアーです。解散後はライトアップされた「もみじ苑」を散策いただけます。

寄附額：1万円
内容量：1名様のご招待
日 時：12月の土日 夕方（予定）

5



大河内山荘特別観覧

大河内山荘の庭園に加え、通常是非公開の大乗閣内部を見学できるツアーです。
時代劇で人気を博した俳優・大河内傳次郎が造り上げた優美な庭園及び建造物の一部は、国の登録有形文化財となっています。

寄附額：1万円
内容量：1名様のご招待
場 所：嵐山エリア

6



フタバアオイオーナー・葵祭特別観覧

1年目は、葵祭で使用されるフタバアオイを育成する「フタバアオイオーナー」プログラムに参加いただき、2年目は葵祭の特別観覧席にご招待いたします。
京都三大祭の葵祭を堪能できる特別な体験です。

寄附額：2万円
内容量：1名様分
日 程：5月15日（2年目観覧）

7

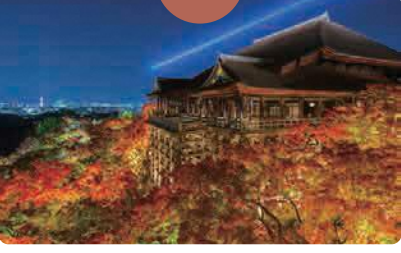


祇園祭山鉦搭乗体験

京都三大祭の一つ「祇園祭」の宵山期間中に、山鉦に搭乗できる一般搭乗券（前祭7種、後祭4種、各1枚）と、祇園祭山鉦連合会の手ぬぐいをお送りします。いつもと異なる視点からみる京都の町は格別です。

寄附額：2万円
内容量：1セット
日 程：7月14～16日、21～23日

8



清水寺夜間特別拝観

春夏秋に行われるライトアップの一般公開に先駆けて、特別にご案内いたします。清水寺の執事 森清顕師の解説を聞きながら、夜の静けさに包まれた境内をゆっくりと巡っていただけます。

寄附額：2万円
内容量：1名様のご招待
※春か秋のいずれか

9



緑陰講座

京都府内の寺院・神社で、ご講話の後に境内を見学いただく体験です。令和7年度は随心院様（山科区）、藤森神社様（伏見区）で開催しました。
※写真は随心院様での様子

寄附額：2万円
内容量：1名様のご招待
※寺院か神社のいずれか

10



高僧の揮毫色紙

府内寺院の高僧の方々がご寄附に感謝をこめて揮毫された色紙を贈呈いたします。奥深い書の文化にふれることができます。
※京都文化体験とのセットです。
※色紙の揮毫者（※下記）を選択することはできません。

寄附額：5万円～
内容量：京都文化体験 1つ
揮毫色紙 1枚

11



京都文化満喫体験

京都の魅力を丸ごと感じていただけるセットです。
すべての京都文化体験に「ペア」でご招待いたします。さらに、府内寺院の高僧の方々がご寄附に感謝をこめて揮毫された色紙を贈呈いたします。

寄附額：10万円
内容量：京都文化体験すべて(ペア)
揮毫色紙 1枚

12



西陣織工房見学 & 製作体験

京都の伝統工芸「西陣織」の工房見学と製作体験ができるプランです。
ご希望の日程・内容でご提供します。
また、すべての京都文化体験にペアでご招待するほか、高僧の揮毫色紙を贈呈します。

寄附額：20万円
内容量：西陣織体験、揮毫色紙 1枚
京都文化体験すべて(ペア)

※ 現在贈呈している色紙に揮毫いただいた高僧の皆様【敬称略・五十音順・令和8年3月現在】
臨済宗相国寺派管長 有馬頼底、真言宗泉涌寺派管長・泉涌寺長老 上村貞郎、元真言宗大覚寺派管長・大覚寺門跡 黒沢全紹、臨済宗建仁寺派管長 小堀泰蔵、黄檗宗管長・萬福寺住職 近藤博道、臨済宗天龍寺派管長 佐々木容道、元東寺真言宗管長・教王護国寺長者 砂原秀遍、真言宗御室派管長・仁和寺門跡 瀬川大秀、日蓮宗本山本法寺貫首 瀬川日照、元真言宗醍醐派管長・醍醐寺座主 仲田順和、元浄土宗西山禅林寺派管長・禅林寺法主 中西玄禮、臨済宗東福寺派管長 原田融道、

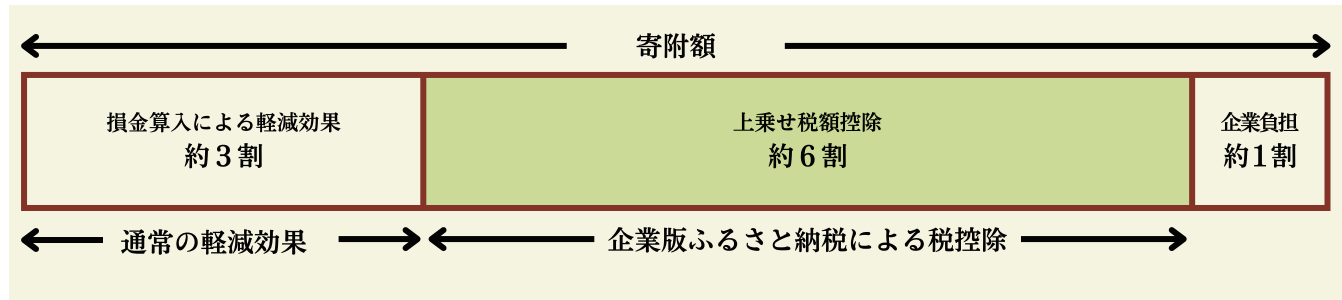
青蓮院門跡門主 東伏見慈晃、元三千院門跡門主 堀澤祖門、元西山浄土宗管長・光明寺法主 堀本賢順、元浄土宗大本山清浄華院法主 真野龍海、本山修驗宗管長・聖護院門跡門主 宮城泰年、北法相宗管長・清水寺貫主 森清範
※このほか、これまでに神護寺様、善光寺様、知恩院様、智積院様、平等院様、妙心寺様、妙蓮寺様、南禅寺様に御協力いただいております。（五十音順）

「文化レジリエンス事業（企業版ふるさと納税）」の概要

京都府では、「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」を活用し、府外企業からの御寄附により文化財を保護継承し、地域振興にも寄与することを目指した文化レジリエンス事業に取り組んでいます。

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税とは、地方公共団体が行う地方創生の取組に対し企業が寄附を行った場合、損金算入措置（寄附額の約3割）に加え、法人関係税の税額控除の措置（寄附額の約6割※）が受けられる制度です。ただし、本社が京都府内にある企業からの寄附は本制度の対象外となります。



令和6年度の受入実績

件数	3 件	金額	2, 2 9 0, 5 2 8 円
----	-----	----	-------------------

令和6年度の文化レジリエンス事業（3件）

事業者名	所在地	対象事業の概要
(宗)住吉神社	南丹市	拝殿・門の基壇土間改修
(宗)若宮神社	亀岡市	本殿屋根 錆止め塗装
(公財)保昌山保存会	京都市下京区	燈籠町会所(保昌山) 防犯カメラ設置

● 宗教法人住吉神社

拝殿・門の基壇土間改修

南丹市



宗教法人住吉神社は、地域の方から「住吉さん」として親しまれています。拝殿と門の基壇土間が経年によって劣化し不陸が生じているため、改修工事を行いました。

所有者の思い

当社には、地域内外から参拝者の方がいらっしゃいます。懸案であった土間の改修によって、みなさまに安心してご訪問いただけるようになりました。

ご寄附いただいた企業様

● 株式会社湖池屋（本社：東京都板橋区）



株式会社湖池屋は、1962年に「湖池屋ポテトチップスのり塩」を発売し、1967年に日本で初めてポテトチップスの量産化に成功しました。日本のポテトチップスの老舗として、日本産じゃがいも100%にこだわり、ポテトチップスを作り続けてきました。また、各国の現地法人を中心に、欧米を含む世界各国でも、独自の事業を展開しております。

2016年10月に新生・湖池屋が誕生し、付加価値経営に舵を切りました。創業の原点に立ち返り、『湖池屋品質』を磨き、創造することにより、日本の老舗スナックメーカーとしての価値を追求してまいります。現在、スナック菓子の価値向上を目指し、高付加価値製品の投入によりプレミアム市場の創出、および定番ブランドの活性化に取り組んでおります。



株式会社湖池屋佐藤章代表取締役社長(左)と西脇知事(右)



令和5年度に京都府と地域包括連携を交わした（株）湖池屋では、地域の素材を生かし、地域とともに地域の抱えるテーマに向けた「湖池屋プライドポテトJAPAN」による社会貢献活動に取り組んでおられます。貴重な文化財を守り、支え、未来へつないでいく京都府の取組にご賛同いただき、令和7年度は、「湖池屋プライドポテト日本の神業京都柚子七味」の1袋あたり1円の売り上げをご寄附いただきました。

● 日の出建設株式会社（本社：大阪府大阪市）



日の出建設株式会社は、無線基地局設備の設計・施工、一般電気工事を中心とする電気通信工事部、不動産・住宅開発やリフォームを行う不動産開発事業部、ホテル経営を行うホテル事業部、レアメタルを中心とする資源リサイクル事業部の四部門を軸に、それぞれの分野でお客様のニーズにお応えするソリューションをご提供しております。



令和7年3月
眞鍋晃篤代表取締役にご感謝状を贈呈しました。

（同社HP：社長メッセージから引用）

● スターティア株式会社（本社：東京都）

スターティア株式会社は、文化財を未来へ確実に引き継ぐため、デジタル技術を活用した支援に取り組んでおります。
近年では、重要文化財「知恩院 勢至堂」の保存修理事業において、高精度3Dスキャニングを用い、修正前の姿を細部まで記録しました。
また、別のご寺院では、災害など万一の事態に備えたいという所有者様の意向を受け、重要文化財である阿弥陀如来像について、現状を詳しく記録するデータ取得を行いました。
これらの取組は、修理記録の充実や関係者間の情報共有を支えるとともに、将来の復元や保存に役立つ新しい備えとなっています。



企業様インタビュー

ご寄附いただいた企業様にお話を伺いました！

● 株式会社ボルテックス様（本社：東京都）

株式会社ボルテックスとは、どのような企業でしょうか。

ボルテックスは、「経営に新常識をもたらし、富の再分配を実現する」ことをパーパスに掲げ、不動産コンサルティングや在籍型出向サービスといった事業領域において、従来の常識にとらわれない価値創造に取り組んできました。格差の拡大や社会の分断といった課題に対し、新たな視点と発想で向き合い、社会資本が健全に循環する社会の実現を目指しております。単なる経済的価値の追求にとどまらず、企業活動そのものが社会の持続可能性にどう貢献できるのかを問い続けています。公平で希望の持てる未来へと社会を前進させることがボルテックスの使命です。



「文化レジリエンス事業」へ御寄附いただいた理由について教えてください。

文化は、社会の根幹を成す大切な資産です。私たちが目指す「資産が健全に循環する社会」とは、経済的な価値だけでなく、文化や歴史といった無形の価値も次世代へと受け継がれていく社会だと考えています。

文化レジリエンス事業への寄附は、文化財を守り、未来へと引き継ぐ取り組みを支援することで、社会全体の持続可能性を高めたいという思いで、寄附させていただいております。



文化財所有者の皆さんへのメッセージ

ボルテックスは今後も、自らの事業や社会貢献活動を通じて、経済と文化が調和し、持続可能な社会が築かれるよう、挑戦を続けてまいります。

申込方法

文化財を守り伝える京都府基金（取扱サイト等、詳細は京都府HPをご覧ください。）

○ふるさと納税サイト

各種ふるさと納税サイトからお申込みください。
（ふるさとチョイス、auPAYふるさと納税 など）

○電話・FAX・郵送・電子メール

下記の問合せ先へ「文化財を守り伝える京都府基金」への寄附申込であること、氏名・住所・連絡先（電話番号かメールアドレス）をお知らせください。

文化レジリエンス事業

○京都府電子申請サービス

システム上で必要事項を入力の上、お申込みください。
「電子申請 文化レジリエンス事業」で検索🔍



京都府HP

京都府HPでは、返礼品・申込方法の詳細や寄附金の活用について発信しています。



←QRコード読み取り、または「文化財を守り伝える京都府基金」で検索🔍

令和7年度の新しい取り組み



P丸様。とめぐる京都デジタルスタンプラリー

若年層に絶大な人気を誇るマルチエンターテイナー「P丸様。」とコラボし、府内の美術館、博物館をはじめとする文化施設でデジタルスタンプラリーを実施しました。P丸様。のファンである方々に、京都の魅力を感じてもらおうという新たな返礼品です。P丸様。も京都が大好きとのことで、張り切って取り組んでいただけました。寄附者の皆様には、これを機に、守り伝えられてきた京都の文化財の素晴らしさを体感していただけたことと思います。

【お問合せ】

京都府文化生活部文化政策室

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話：075-414-4521 FAX：075-414-4223 メール：bunsei@pref.kyoto.lg.jp

京都府HP：https://www.pref.kyoto.jp/furusatokifu/index.html